令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話し言葉と書き言葉との違いに気付き、それぞれの特色や役割を捉えることができている。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読むことができている。
- 情報と情報との関係付け、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。

【算 数】

- 問題場面の数量の関係に着目し、□を用いた計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて表現することができている。
- 速さの意味を理解し、道のり、時間、速さの数量の関係を正しく捉えることができている。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に沿って言葉や数を用いて説明することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 将来の夢や目標をもっている。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。
- PC・タブレットなどのICT機器の活用に個人差がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・国語科の年間を通し、読み方や書き方を身に付けさせる授業構成
- ・朝タイムにおける基礎計算プリントの取組
- ・「数と計算」領域における授業時間内のドリルパークの活用

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・15分の相対話を位置付けた授業づくり
(児童の課題意識を大切にした授業、自分の考えをつくる書く活動、話し合っ解決し合う集団)

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・各自が、家庭学習の時間の目標や1週間の学校生活における目標を立て、それに向かって家庭とともに取り組む「夢かなえノート」を使った粘り強くがんばる意識を高める仕組み

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ミライシードを使った個別の課題に応じた学習や、ICTを生かして交流する活動の設定